

事業提案書

2025 年 8 月 8 日

滑川市長 宛て

提案者 所在地 神奈川県横浜市都筑区川和町 1236-1

事業者名 株式会社 教育ネット

代表者氏名 大笹 いづみ

滑川市企業版ふるさと納税活用地域活性化等推進補助金について、次のとおり事業を実施したいので、関係書類を添えて事業を提案します。

なお、この事業が採択された場合は、滑川市のホームページ等により、この事業に係る提案者、内容、事業費等が公表されることを了承します。

提案事業の名称	子どもと創るまちの魅力発信プロジェクト	
地域再生計画の該当事業	滑川市まち・ひと・しごと創生推進計画 ☐ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業 ☐ 安心な暮らしを守るとともに、新たなひとの流れが生まれる魅力的なまちをつくる事業 ☐ 新しいしごとが生まれ、安心して働けるまちをつくる事業 ☒ 未来技術を活用し地域課題を解決する事業	
実施期間	2026 年 1 月 1 日 から 2026 年 3 月 31 日 まで	
提案事業の概算事業費	(1) 計画事業費	5,000 千円
	(2) 計画事業費のうち 必要最低補助額 ※規模の縮小、自己財源等により事業の実施が可能となる最低限必要である補助金の目安額を記載してください。	1,000 千円
添付書類	☐ 事業提案計画書 ☐ 収支予算書	

注 1 提案事業が採択された場合に、「提案事業の計画事業費」のうち、「概算事業費のうち必要最低補助額」に記載された額まで、企業版ふるさと納税が集まった場合は、提案事業に関し、補助金交付に向けた予算措置等の手続に進む想定となるものです。

事業提案計画書

提案事業の名称	子どもと創る まちの魅力発信プロジェクト
地域再生計画の名称及び事業の名称	未来技術を活用し地域課題を解決する事業
提案事業の内容	本事業は、2つの内容から構成されます。 ①地元の子どもたちを対象とした、生成 AI やデジタルものづくり等の未来技術に触れられるワークショップ（年8回） ②①のワークショップで集められたアイデアを元に、子どもたち目線で発見された地域の魅力を、観光客や地域の人たちに伝えられるカプセルトイを設置します。 ①ワークショップ 【実施の目的】 本ワークショップでは、子どもたちが地域の魅力を再発見する機会を提供すると共に、再発見した魅力のアウトプットとして、生成 AI やレーザーカッター・UV プリンタに触れる機会を創出します。 自分のアイデアが形になることで、最新技術に触れるだけでなく、地域のために自分たちにもできることがあるという市民参加の意識を醸成します。 【実施内容】 ①地元の良さをいろいろな人に伝えよう ワークショップ毎に『名産品』『観光』などのテーマを決めて、自分たちが PR したい御当地自慢を考える。 ②表現しよう ①で検討した内容を生成 AI や手書きでイラスト化し、イラストと共に伝えたいメッセージを整理する。 ③アクリルキーホルダーを作ろう ②で作成したイラストをレーザーカッターと UV プリンタを活用してアクリルキーホルダーにする。作成したキーホルダーは持ち帰り可能 【ワークショップテーマ（例）】 ・地元の良さを発信しよう（特産物 等） ・私と施設の思い出（交流プラザ等での思い出を発

	信する) ・地元の駅 今昔（駅の今と昔を比べてみよう） ②カプセルトイの設置 【設置の目的】 子どもたちがワークショップで見つけた地域の良さや地域の施設等との思い出をカプセルトイ形式で販売することで、地域住民や観光客が地域の魅力を発見することができます・ QRコードで子どもたちからのメッセージも見られるようにすることで、『その場所に行ってみたい』という動機づけになり、観光誘致や地域回遊を促進し、地域の活性化に貢献します。 【設置台数】 合計 12 台 1 施設に 3 台ずつ設置することを想定しています。 【設置候補場所】 滑川ショッピングセンターエール あいの風とやま鉄道 滑川駅 中滑川駅 道の駅 ウェーブパークなめりかわ 他
提案事業の実施による公益的な効果	①未来技術の活用 生成 AI、UV プリンタ、レーザーカッター等の最先端技術に子どもが触れる機会を創出します。また、ワークショップでは著作権等にも触れるため、情報モラル等の教育も含みます。 ②地域資源の活用とまちづくりへの寄与 子どもたちを地域の担い手として育成しながら、地域資源の価値を再発見・発信します。また、カプセルトイの設置を通じて、観光誘致や地域回遊を促進し、地域の活性化に貢献します。
対象者、人数、規模等	①ワークショップ 対象：市内の小中高校生 人数：1 回あたり 10 名程度 規模：1 日 2 コマを 4 日程実施 場所：滑川ショッピングセンターエール ②カプセルトイ 対象：地域住民・観光客 設置数：12 台 予定場所 ・滑川ショッピングセンターエール ・あいの風とやま鉄道 滑川駅

	・中滑川駅 ・道の駅 ウェーブパークなめりかわ 他
想定スケジュールと内容	～1 月第 3 週 ・関係機関等との連携体制の構築 ・カプセルトイの設置場所との調整 ・ワークショップの募集 1 月第 4 週～2 月第 2 週 ・ワークショップの実施 ・製品の選出 2 月第 2 週～3 月第 4 週 ・ワークショップの実施 ・カプセルトイの設置
必要最低補助額で事業を実施する場合の概要	全体の事業実施内容を大きく変更はせず、規模を縮小します。 ① ワークショップ 実施回数を 8 回から 2 回に削減 ②カプセルトイの設置 台数を 12 台から 3 台に削減
備考	

注 1 「提案事業の内容」は、できるだけ詳細に記載してください。必要に応じて、図式化した参考資料等を、別紙で添付してください。

2 「必要最低補助額で事業を実施する場合の概要」は、「提案事業の内容」と比較して、必要最低補助額で実施する場合の内容の違い(規模の縮小の程度、自己財源による実施の場合の内容等)を記載してください。